

令和2年1月8日

隠岐支庁農林局農政・普及部

標題 海士町で集落営農講演会が開催

(ダイジェスト)

海士町では、農家の高齢化などの問題がある中で、新たな集落営農組織の設立が望まれています。この流れを受けて、6月に開催された集落営農意見交換会に続いて、12月15日（日）に島根県集落法人ネットワークの糸賀盛人会長を講師に招いて、集落営農講演会が開催されました。

海士町の水田営農は、高齢化が進んで耕作が出来ない水田が増えることが予想されます。島の水田を維持していくためには、新たな集落営農組織の設立が望まれています。

そこで、令和元年12月15日（日）に、海士町役場において集落営農講演会が開催され、農業者が約20名参加されました。今回の講演会は、海士町の農事組合法人サンライズうづかの向山組合長と島根県集落法人ネットワークの糸賀盛人会長が会議等で一緒になり、依頼をされて実現しました。

講演会では、最初にJAしまね本店営農対策部営農指導企画課の山本技監から『令和元年度水稲の作柄状況と「きぬむすめ」栽培について』と題して、今年度の水稲の作柄状況とその原因、きぬむすめの栽培面積の拡大についてお話をされました。

次に糸賀盛人会長から、『集落のこれから・・・』と題して、集落営農法人「おくがの村」の立ち上げまでの経緯と苦労されたこと、また、ご自身がいろいろな方と話をされた中で得た情報などについて熱くお話をされ、制度が充実している今だからこそ法人を立ち上げるメリットについて語られました。

普及部として、地元農家や役場、JA等関係機関と連携しながら、地域での第二、第三の集落営農組織の設立が実現するように支援していきます。



講演会の様子



講演される糸賀会長